

令和3事業年度
(第 18 期)

決 算 報 告 書

国立大学法人
長岡技術科学大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人 長岡技術科学大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	4, 1 1 0	4, 2 1 6	1 0 6	(注1)
施設整備費補助金	4 3 5	5 1 7	8 2	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	8 6 7	9 5 9	9 2	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	2 5	2 5	—	
自己収入	1, 4 2 9	1, 3 9 8	△ 3 1	
授業料、入学金及び検定料収入	1, 1 6 3	1, 1 5 1	△ 1 2	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	2 6 6	2 4 7	△ 1 9	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1, 1 3 2	1, 5 4 8	4 1 6	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	1 5 6	3 2 1	1 6 5	(注7)
前中期目標期間繰越積立金取崩	—	—	—	
計	8, 1 5 4	8, 9 8 4	8 3 0	
支出				
業務費	5, 6 9 5	5, 5 5 2	△ 1 4 3	
教育研究経費	5, 6 9 5	5, 5 5 2	△ 1 4 3	(注8)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	4 6 0	5 4 2	8 2	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	8 6 7	8 9 2	2 5	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1, 1 3 2	1, 2 6 0	1 2 8	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	8, 1 5 4	8, 2 4 6	9 2	
収入－支出	—	7 3 8	7 3 8	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、学生の相談体制等の強化分の追加交付による1百万円の増、授業料免除枠の追加交付による6百万円の増、退職手当の追加交付による98百万円の増、退職手当の前年度未使用額1百万円の減、業務達成基準を適用した事業の前年度からの繰越額2百万円の増により、予算金額に比して決算金額が106百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、前年度からの繰越額の増により予算金額に比して決算金額が82百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得等により、予算金額に比して決算金額が92百万円多額となっています。
また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が63百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、予定より学納金の納入者数が減少したため、予算金額に比して決算金額が12百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として新型コロナウイルス感染拡大に伴い新入生の学生宿舍入居を見送ったことにより、予算金額に比して決算金額が19百万円少額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的に受託研究等の獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が416百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額は193百万円です。
- (注7) 目的積立金取崩については、前年度からの繰越額の増により、予算額に比して決算金額が165百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、経費の節減に努めたこと、また、学内既定事業から関連補助金及び間接経費への一部執行を振替えたことによる支出減等により、予算金額に比して決算金額が143百万円少額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が82百万円多額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が25百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が128百万円多額となっています。